

場所	A409	A410	A411	A412	A413	A405	A404	A403	A402
座長	加藤 浩	鈴木 香織	米山 茂美	小川 徹	北村 英隆	八木 孝雄	江藤 学 その他 (知的財産の新領域)	乾 利之	田中 義敏
			知財人財育成・知財教育						
14:00	2A5 川下 英盛 (一財)知的財産研究教育財団 知的財産教育協会 知的財産管理技能士会研究会 平成27年改正による職務発明制度 ～問題点の確認と対処～	2B5 城所 岩生 国際大学グローバルコミュニケーションセンター コンテンツビジネスにイノベーションを起こすための6つの提言	2C5 金間 大介 東京農業大学 人材育成の忘失点: 育成される側のモチベーション	2D5 苫米地 正啓 日本弁理士会 商標委員会 変化する商標類否と改訂「商標審査基準」についての考察	2E5 内田 国克 国立研究開発法人国立循環器病研究センター 大学・研究機関における著作物関連規程の比較考察	2F5 石橋 史朗 会津大学産学イノベーションセンター 会津大学における知財管理と産学連携	2G5 永井 武 法政大学大学院 産業クラスターと知財の役割および地域産業政策について	2H5 嵯峨根 多美 特許庁 技術動向調査(太陽電池素子)	2I5 木村 輝鷹 東京理科大学大学院イノベーション研究科知的財産戦略専攻 医療用バイオセンサーにおける日本企業の特許出願動向に関する一考察
14:20	2A6 藤田 和子 日本弁理士会 不正競争防止法委員会 発明その他の技術情報の保護戦略に関する考察			2D6 五所 万実 慶應義塾大学大学院 結合商標の類否判断における言語学的考察	2E6 木村 友久 山口大学国際総合科学部 音楽コンテンツの知財管理演習実践事例紹介	2F6 宮ノ下 智史 東京農業大学 食品製造業における産学連携、デザイン受賞、認証取得の影響についての実証分析	2G6 隅藏 康一 政策研究大学院大学 特許データから見た地域内外の人材移動: San Diegoのケース	2H6 伊澤 久美 特定非営利活動法人 産学連携推進機構 「オペラマスター」によるホギメディカルのプラットフォーム戦略	2I6 村越 亮太 日本大学大学院知的財産研究科 AI・IoTと営業秘密～学習成果の保護について～
14:40	2A7 鈴木 信也 FRAND研究会 最高裁判決後のプロダクトバイプロセスクレームの許容性と技術的範囲に関する考察～最判後の判決傾向と先端技術におけるPPBクレームの適用可能性～	2B7 諏訪野 大 近畿大学 建築の著作物の著作者	2C7 陳 愛華 重慶大学 学術起業における知財教育の在り方について	2D7 鈴木 公明 東京理科大学イノベーション研究科 意匠審査基準「創作非容易性」の論理構造—貝吊り下げ具事件を素材に	2E7 吉田 明恵 愛媛大学 非同期型e-Learning授業の著作権処理に対する組織的な取り組み	2F7 近藤 伸一 株式会社モリタホールディングス 退職者による技術情報漏えい問題に関する考察と提言～企業の秘密情報保護徹底の視点から～	2G7 田中 良恵 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 自治体の産業活動に対する効果的な知的財産施策の一考察	2H7 神谷 昌男 日本弁理士会 企業弁理士知財委員会 機能性食品の知財戦略に関する考察	2I7 梶間 周一郎 金沢大学人間社会学域 地理的表示の地域振興における可能性と課題
15:00			2C8 吉田 悦子 大阪大学知的財産センター デザインの創作活動の特性に応じた実践的な知的財産権教育とモデルカリキュラムの開発	2D8 茂木 裕美 青山学院大学法学部 意匠法における安心安全の概念について	2E8 安達 陽子 日本弁理士会著作権委員会 デジタル教科書等の利活用に向けた著作権法に関する問題の検討及び提言	2F8 狩野 幹人 三重大学 産学連携における企業の秘密情報管理—企業規模・業種に基づく比較・分析—	2G8 木村 厚 日本弁理士会知的財産経営センター 知財コンサルティングに必要となるコミュニケーションスキル及びプレゼンテーションスキルの研究		2I8 片山 由梨佳 東京理科大学専門職大学院イノベーション研究科 医薬品分野における数値限定発明の特許出願戦略
休憩			岡田廣司、世良清	根本淳子、田中寿郎、藤本憲市、林敏浩、村井礼	村川一雄	菅野政孝	佐野和良、大石裕司	内山愉太、香坂玲	青木大也、北村英隆
						三橋一郎、堀内孝、西村訓弘、吉岡基	中富雄		浅見節子

日本知財学会第15回年次学術研究発表会 一般発表(発表者、発表者所属、テーマ、連名発表者)
2017年12月3日(日)

場所	A409	A410	A411	A412	A413	A405	A404	A403	A402
座長	平山 賢太郎	諏訪野 大	吉岡 徹	鈴木 公明	陳 愛華	山内 勇		妹尾 堅一郎	
			その他 (知的財産の新領域)						
15:30	2A9 竹田 由美子 青山学院大学 侵害訴訟等における米国e ディスカバリー制度導入の効果と制度上の弱点-日本の職権探知機能とデジタルフォレンジクスを考える-	2B9 加藤 直規 知的財産研究家 「美術の著作物の営利を目的としない展示」自由化の提案-私益と公益	2C9 岡田 吉美 一橋大学イノベーション研究センター 国際調査報告書の品質と飾い効果:審査方針の転換に基づく検証	2D9 吉岡(小林) 徹 東京大学 デザイン・イノベーションは知的財産権で計測できるのか:国際的デザイン賞受賞製品の日米欧中での意匠・特許保護の実証分析 藤本一、秋池篤	2E9 北村 英隆 大阪大学知的財産センター 地域・社会と協働した知財創造教育 片桐昌直、甲野正道、村上画里、杉浦淳、山田繁和、杉山典正	2F9 森田 慶子 日本弁理士会バイオ・ライフサイエンス委員会 アカデミア発バイオベンチャーにおける知財の役割とその課題 金丸清隆、謝卓峰、田中信治、伊藤洋介、小原淳史、森田裕		2H9 大沼 妙子 特定非営利活動法人 産学連携推進機構 機器・試薬・ソフトウェアの三位一体戦略~シスメックス社の知財マネジメントに関する一考察~ 妹尾堅一郎、伊澤久美、開本亮、上野洋和、関本奈菜子、丸島和也	
15:50	2A10 滝田 清暉 IP国際技術特許事務所 特許制度における発明の多重性	2B10 星野 豊 筑波大学 著作権侵害に対する制裁の相当性	2C10 高橋 省吾 鹿児島大学 産学官連携推進センター 海外特許費用の統計的予測手法に関する研究 真鍋誠司、本橋永至、岸本重雄、萩原亨、金垣憲	2D10 平峯 佑志 一般社団法人鬼ごっこ協会 社会的事業における知財マネジメントの展望~鬼ごっこ協会の活動を事例とした考察~	2E10 東村 篤 四日市大学研究機構環境技術研究所 地域包括ケアシステム構築の下での2つのCIPO人材の養成	2F10 Karina Nuncio Mora 大阪工業大学大学院知的財産研究科/JICA IP as a strategy for the internationalization of SMEs: Mexico-Japan case. -Empowering SMEs' competitiveness with IP assets in the global market-		2H10 上野 洋和 特定非営利活動法人 産学連携推進機構 オンラインサービスを活用した参入障壁構築~シスメックス社の知財マネジメントに関する一考察~ 妹尾堅一郎、伊澤久美、開本亮、関本奈菜子、丸島和也、大沼妙子	
16:10	2A11 加藤 浩 日本大学法学部 特許権の存続期間の延長に関する一考察	2B11 楊 倫理 中銀(深セン)法律事務所 著作権の保護と商標権の保護との交錯・衝突 星野豊	2C11 北田 透 国土交通省大臣官房 特許保有件数が企業業種別における生産量に与える影響についての諸考察	2D11 後藤 啓一 東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻 企業ブランドに影響を及ぼすネガティブな事象の発生とその影響および対応について~食品会社X社事例からの一考察	2E11 岡田 廣司 東京福祉大学 知財福祉領域における創造性の醸成と人材育成に関する提言 世良清、陳愛華	2F11 坂巻 仁志 坂巻公認会計士事務所(国士舘大学大学院生) 知的財産権の存在を、企業会計上、財務諸表においてより社会に強くアピールする。		2H11 関本 奈菜子 特定非営利活動法人 産学連携推進機構 精度管理の標準化によるグローバルビジネスへの活用~シスメックス社の知財マネジメントに関する一考察~ 妹尾堅一郎、伊澤久美、開本亮、上野洋和、丸島和也、大沼妙子	
16:30			2C12 枝村 一磨 日本生産性本部 研究開発投資と生産性	2D12 八神 寿徳 三重大学 事例分析に基づく大学ブランド商品の大学名称・標章等使用料設定方法に関する考察	2E12 富畑 賢司 国立大学法人大分大学 医看工芸連携活動に関わる人への知的財産教育プログラムの開発 辰巳明久、富田直秀、北村英隆、吉田悦子、野田佳邦			2H12 丸島 和也 特定非営利活動法人 産学連携推進機構 知財権ミックスを活用したグローバルなブランド戦略~シスメックス社の知財マネジメントに関する一考察~ 妹尾堅一郎、伊澤久美、開本亮、上野洋和、関本奈菜子、大沼妙子	